

	<b>厚労省による 調査 組織肥大法案</b>	<b>現場からの医療改革推進協議会 医療事故ワーキンググループによる 医療事故等に関する 患者支援法案(仮称)</b>
<b>コンセプト</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療崩壊を促進</li> <li>・厚労省の組織焼け太り</li> </ul>	<p><b>患者の権利実現</b>を具体的に支援する委員会を内閣府に設置し、二次医療圏ごとにその窓口を設ける。 厚労省の組織・権限拡大を許さない</p>
<b>対象</b>	死亡例のみ	<b>患者が真相究明を望む例</b>
<b>医療メディエーション</b>	なし	事故発生時に <b>患者をサポートする医療メディエーター</b> を各病院に配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医療機能評価機構や大学などでのメディエーター養成事業の拡充</li> <li>・各医療機関への財政的サポート</li> </ul>
<b>裁判外紛争処理機関 (ADR 機関 ※1)</b>	なし	紛争解決の <b>多様な選択肢を患者に提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士会、ADR 法上の認証を受けた医療紛争を専門とする ADR に対し予算措置</li> <li>・ADR を担う人材育成</li> <li>・民事的救済の充実</li> </ul>
<b>調査</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的は矛盾（真相究明・再発防止・責任追及）</li> <li>・全件届出義務化</li> <li>・刑事処分・行政処分と連動するので真相究明は不可能</li> <li>・届出・調査による不利益処分を禁じた次の指針等に違反                         <ul style="list-style-type: none"> <li>日本学術会議「事故調査体制の在り方に関する提言」</li> <li>日本医師会「医師の職業倫理指針」</li> <li>"To err is human" Institute of Medicine</li> <li>N Engl J Med. 2006 May 25;354(21):2205-8</li> <li>National Medical Error Disclosure and Compensation (MEDiC) Bill</li> <li>ブッシュ大統領による一般教書演説</li> <li>厚労省医政局総務課 第2回医療安全対策検討会議議事録</li> <li>国際民間航空機条約（シカゴ条約）</li> <li>国家運輸安全委員会（NTSB）</li> <li>米国航空安全報告制度（ASRS）</li> <li>高久史麿先生インタビュー ※2</li> </ul> </li> <li>・厚労省主導（患者不在）の調査</li> <li>・巨大組織を厚労省に新設（税金無駄遣い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的は患者の「納得」</li> <li>・患者の意志で依頼</li> <li>・専門家ネットワークが、患者主導の調査をサポート</li> <li>・医療メディエーターや医療 ADR との有機的連携</li> <li>・巨大組織は不要</li> </ul>
<b>行政処分・刑事処分</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査組織へ全件届出の後、厚労省経由で刑事処分・行政処分へ</li> <li>・委縮医療・医療崩壊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政処分は厚労省が、刑事処分は司法機関が、厳正に実施。検死体制を抜本的に強化。</li> <li>・特に厚労省の<b>ずさんな医道審議会運営</b>について、人材・体制を抜本的に改革</li> </ul>
<b>医師法 21 条改正</b>	具体策なし	<b>「医師法 21 条削除」</b> 又は 「警察への届出は、医師の死亡診断書がない死亡に限定」
<b>真相究明を担う 専門家・費用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真相究明に協力した医療者に対する予算措置は明記なし</li> <li>・解剖担当医等の育成・確保</li> <li>・解剖費用に対する予算措置は明記なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真相究明に協力した医療者に対する<b>予算措置</b></li> <li>・解剖担当医等の育成・確保（病理医・法医相互の研修・連携）</li> <li>・解剖費用（各種検査を含む）に対する<b>予算措置</b></li> </ul>
<b>その他</b>	なし	患者の求めに応じ、医療機関は診療録の写しを交付する

※ 1 ADR：裁判外紛争処理（Alternative Dispute Resolution の略）

※ 2 高久史麿先生インタビュー（2005年10月24日/TKC医業経営情報 2005年12月号より） <http://www.clinic.tkc.or.jp/b/b03/b0335.html>